

## 事業レビューに係る評価結果と添えられた意見

## (事業番号1) まちの保健室事業

	評価結果	評価に添えられた意見
①不要・凍結	0 (0)	
②国・県・広域で実施	0 (0)	
③要改善	17 (3)	<p>取組みを行わない地区がある中、開催されている地区に地区外の者が参加しにくい(地域性で差が出る事業方式で良いのか)／<u>事業の目的は良い</u>(一定の効果はある)／<u>広報のやり方(住民への連絡)に問題がある(事業そのものが認知されていない)</u>／特定の方(<u>参加者の固定</u>)が利益を得ることになるので、幅広く利益を得る方を増やすためにも改善した方が良い／家族で参加したいと思ったが、<u>参加しやすい曜日、時間などの工夫が必要</u>／<u>他地域への拡大をする工夫が必要</u>／食生活の見直しであったり、心身の健康についての取組みは重要／受診率が横ばいなのは課題／受診者のニーズに合わせた内容にした方が良い／もっと興味を持ってもらえる内容にした方が良い／現状分析が不十分／<u>委託料は実施回数、実施内容、人員により配分に応じた金額とするべき</u>／アウトリーチではなく、つながりを持たない世代に対して、自宅などでできる取組みを拡充すべき(集まらないでも個人でできる取組みも必要)／高血圧、糖尿病の中年層をターゲットにしたイベント開催が必要／検診を受けることが大切なのではなく、その結果を踏まえての必要な運動、生活習慣の改善が必要／健康意識の低い人にどうアプローチをしていくか／新規参加者はどの年代層が多いのかなどの実態把握が必要／なぜ他の地域に比べて血圧が高いかなど原因を調べ、対策が必要／地区ごとの特徴的な健康問題もそれぞれ取入れることで新しい参加者が増えるので、現行制度に加え、新たなサービスを追加する方が良い／対象は年齢に関係なく全員であるが、高齢者の参加が多くなっているため、より広い年齢層に参加してもらう必要がある／健康意識を計る指標は受診率で分かるが、健康度を計る指標に工夫が必要／<u>方向性は明確であるが、年代別のターゲットの設定が甘い(特に若年層)</u>／国民健康保険以外の保険者の現状把握も必要／<u>関連事業との棲み分け、役割分担、統合を検討すべき</u>／事業実施団体のスリム化を図る／</p>
④拡充・充実	3 (0)	<p>高齢者や40代以下の方がもっと気軽に参加できる時間帯に開催した方が良い／年代によって内容を考える／メンタルヘルスへの対応もますます充実させる必要がある</p>
⑤現行どおり	1 (0)	<p>成果と課題を整理し、検討する段階だが、良い取組みなので集中して取組んで欲しい／体躯にも拡大する戦略を立てることを期待／休眠状態となっている各部落の健康づくり推進員制度を活性化させ、各部落での健康づくり運動を全然違う形にすることも必要</p>

※評価結果の( )書きは、審議員(外部有識者)の評価です。

※評価に添えられた意見のうち下線のものは、意見の多かったものです。